

ZWS-BP シリーズ

取扱説明書

製品ご使用上の注意事項(共通注意事項)

ご使用の前に取扱説明書を必ずお読みください。

注意事項を十分に留意の上、製品をご使用ください。ご使用方法を誤ると感電、損傷、発火などの恐れがあります。

⚠ 危険

引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。

⚠ 設置上の警告

- 設置作業は、取扱説明書に従い確実に行ってください。設置に不備があると、感電、火災の恐れがあります。
- 設置作業は、適切な技術訓練並びに経験を積んでいる方が行ってください。感電、火災の恐れがあります。
- 製品を布や紙などで覆ったりしないでください。周囲に燃えやすいものを置かないでください。故障・感電・火災の発生原因となる事があります。

⚠ 使用上の警告

- 通電中や電源遮断直後は、製品に触れないでください。触れると火傷の恐れがあります。
- 通電中は、顔や手を近づけないでください。不測の事態により、けがをする恐れがあります。
- カバーのない電源にも高圧及び高温の部分があります。触らないでください。触ると感電や火傷の恐れがあります。
- 入力遮断直後は、内部に電圧を保持している場合があります。
非通電状態であっても高圧及び高温の部分がありますので触らないでください。感電・火傷の恐れがあります。
- 製品の改造・分解・カバーの取り外しは、行わないでください。感電や故障の恐れがあります。なお、加工・改造・分解後の責任は負いません。
- 出力の異常時や、煙が出たり、異臭や異音がするなどの状態のまま使用しないでください。直ちに電源を遮断して使用を中止してください。感電・火災の発生原因となる事があります。このような場合、弊社にご相談ください。お客様が修理することは、危険ですから絶対に行わないでください。
- 水分や湿気による結露の生じる環境での使用及び保管はしないでください。感電、火災の発生原因となる事があります。
- 製品を落としたり、衝撃を与えた場合は故障の発生原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 本製品の修理は弊社、もしくは弊社が認可した代理人によって行われます。本製品を使用する上で重要な要素として、危険な環境での使用(原子力制御システム、生命維持システムなどの設備)は弊社の担当者の明確な文書による承諾なしでは認可されません

⚠ 設置上の注意

- 入出力端子及び各信号端子への結線が、取扱説明書に示されるように、正しく行われていることをお確かめください。
- 入力電圧・出力電流・出力電力及び周囲温度・湿度は、仕様規格内でご使用ください。仕様規格外でのご使用は、製品の破損を招きます。
- 入力線は、できるだけ短く、太い電線をご使用ください。
- 直射日光の当たる場所、結露もしくは水が掛かったり雨にさらされる場所、強電磁界・腐食性ガス(硫化水素、二酸化硫黄など)等の特殊な環境ではご使用しないでください。
- 製品の設置方向、通風状態について、取扱説明書をご確認の上、正しく設置願います。
- 製品の入力及び出力の結線時は、入力を遮断して行ってください。
- 導電性異物、塵埃、液体が入る可能性のある環境に設置した場合は、故障もしくは誤動作を防ぐために、フィルターを設置いただくなど電源内部に侵入しないように、ご配慮ください。

⚠ 使用上の注意

- 取扱説明書に製品個別の注意事項を示しております。ここに記載された共通注意事項と差異がある場合は、個別の注意事項が優先されます。
- 製品の使用前には、カタログ・取扱説明書を必ずお読みください。ご使用を誤ると感電、製品の損傷、発火などの恐れがあります。
- 入力電圧・出力電流・出力電力及び周囲温度・湿度は、仕様規格内でご使用ください。
仕様規格外でのご使用は故障・感電・火災の発生原因となる事があります。
- 内蔵ヒューズが溶断した場合は、そのままヒューズを交換して使用しないでください。内部に異常が発生している恐れがあります。
必ず弊社に修理依頼をしてください。
- 保護回路(素子、ヒューズ等)を内蔵していない製品については、異常動作時の発煙、発火防止のため、入力段へヒューズを挿入してください。
また、保護回路を内蔵している製品についても、使用条件によっては内蔵保護回路が動作しない場合も考えられますので、個別に適正な保護回路のご使用をお勧めします。入力の配線や入力ラインの状況により、内蔵ヒューズが動作しない場合がございますのでご注意ください。
- 外部取付ヒューズには、弊社指定または、推奨のヒューズ以外は使用しないでください。
- 弊社製品は、一般電子機器等に使用される目的で製造された製品であり、ハイセイフティ用途(極めて高い信頼性及び安全性が必要とされ、仮に信頼性及び安全性が確保されていない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途)への使用を想定して設計されたものではありません。
フェールセーフ設計(保護回路・保護装置を設けたシステム、冗長回路を設けて単一故障では不安定とならないシステム)の配慮を十分に行ってください。

- 強電磁界の環境でご使用された場合、誤動作による故障に繋がる可能性があります。
- 腐食性ガス(硫化水素、二酸化硫黄など)の環境下でご使用になる場合、電源が侵され故障に至る場合があります。
- 導電性異物、塵埃、液体が入るような環境の場合、故障もしくは誤動作に至る場合があります。
- 落雷等のサージ電圧防止対策を実施してください。異常電圧による破損等の恐れがあります。
- 電源のフレームグラント端子は、安全及びノイズ低減のため、装置の接地端子に接続してください。接地を行わない場合、感電の恐れがあります。
- 寿命部品(電解コンデンサ)は定期的な交換が必要です。ご使用環境に応じたオーバーホール期間を設定し、メンテナンスを行ってください。また、部品の生産中止等の理由によっては、オーバーホールができない場合もあります。
- 出力には、外部からの異常電圧が加わらない様にご注意ください。特に出力間に逆電圧または定格電圧以上の過電圧を印加すると、故障・感電・火災の発生原因となる事があります。
- 本製品は、材料グループIIIb、汚染度2、オーバーボルテージカテゴリII、クラスII機器で設計されています。屋内使用の装置の一部としてサービス技術者のみが触れることができる製品として設計されています。
- 本製品は、プリント基板の半田面に表面実装部品を搭載した基板型電源です。プリント基板へのねじれ、たわみ、衝撃などのストレスは故障の原因となることがありますので、お取扱いには十分ご注意ください。
- 本製品をお取扱いの際は、基板端を持ち、部品には触れないようご注意ください。また、機器・装置には導電性のある間座等をご使用頂き、各電源で規定されている寸法以上のギャップにてお取付けください。
- 本製品は、故障状態において出力電圧がSELVを越えてしまう可能性があります。SELVを維持するには、貴社製品内に組込まれる際、2次側部において、保護回路を施してください。
- 本製品は、突入電流防止回路を内蔵しています。パワーサーミスタ方式の為、頻繁に入力のON/OFFを繰り返した場合、突入防止回路が動作せず過大な突入電流が流れ、破損する恐れがあります。
- 本製品の出力電力は危険なエネルギーレベル(電圧が2V以上で電力が240VA以上)と見なされますので、使用者が接触することのないようにしてください。本製品を組み込んだ装置は、誤ってサービス技術者自身や修理時に落下した工具等が、本製品の出力端子に接触する事がないように保護されていない場合があります。修理時には必ず入力側電源を遮断し本製品の入出力端子電圧が安全な電圧まで低下していることを確認してください。

⚠️ その他注意事項

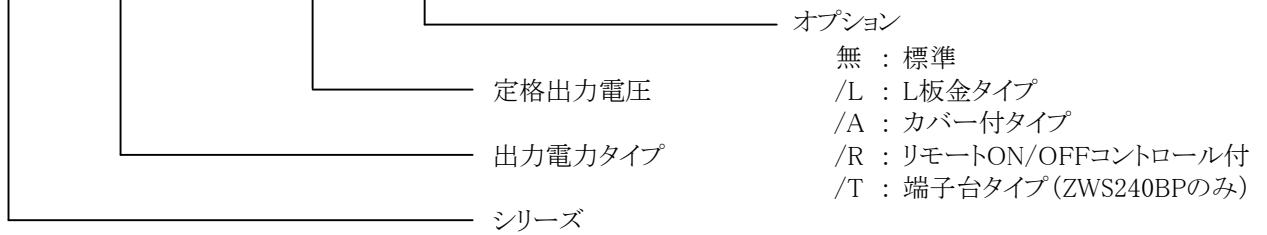
- 製品の板金には製造工程上で発生する加工痕が残ることがあります。
- 製品を廃棄する場合は、各自自治体の廃棄方法に従って処理をしてください。
- 雑音端子電圧・雑音電界強度・イミュニティについては、弊社標準測定条件における結果であり、装置の実装・配線状態によっては規格を満足しない場合があります。実機にて十分評価の上、ご使用ください。
- 製品を輸出する場合は、外国為替及び外国貿易管理法の規定に基づき、輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。
- カタログ、取扱説明書の内容は、予告なしに変更される場合があります。ご使用の際は、最新のカタログ、取扱説明書をご参照ください。
- 取扱説明書の一部または全体を弊社の許可なく複製または転載することを禁じます。

保管方法及び保管期限

- 梱包箱に入った状態で保管してください。
- 製品に直接過度な振動、衝撃、荷重がかからないようにしてください。
- 直射日光があたらないようにしてください。
- 保管温湿度は、以下条件を目安としてください。
温度範囲:5°C~30°C
湿度範囲:40%~60%RH
温湿度変化の激しい場所での保管は、製品に結露が生じたり、劣化の原因になりますのでお避けください。
- 保管期限は、納入後2年以内のご使用をお奨め致します。
無通電のまま長期間放置しますとアルミ電解コンデンサの漏れ電流が増加する傾向にあります。
この現象は、アルミ電解コンデンサに電圧を印加することで電解液の修復作用により増加した漏れ電流が減少し、改善致します。
目安として1年以上長期保管された製品をご使用される場合は、ご使用前に30分以上の無負荷通電を実施後、ご使用願います。
(通電条件の目安)
(1)実施期間 : 納入後1年以上経過
(2)通電条件
入力電圧 : 定格
負荷 : 0A
周囲温度 : 常温
時間 : 30分以上

1. 型名称呼称方法

ZWS 150 BP - 24 / □

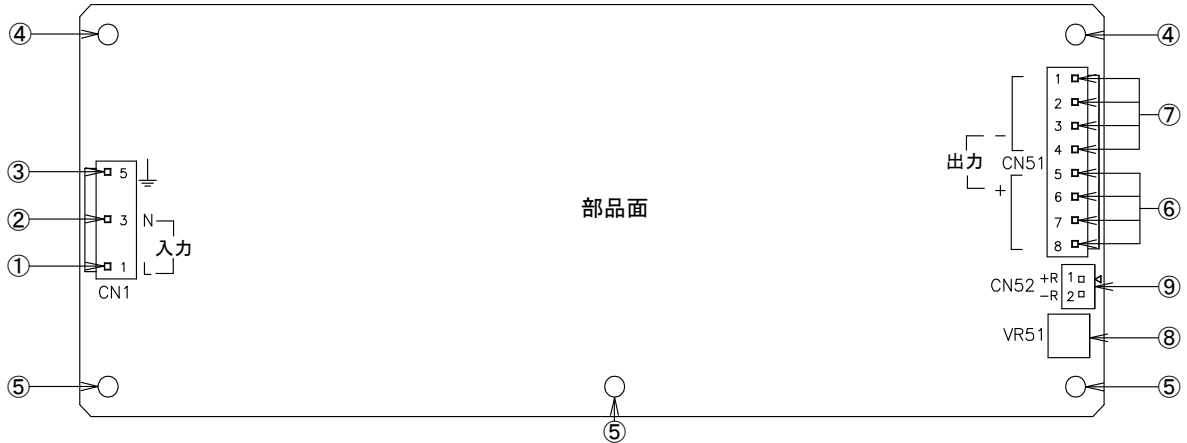


2. 端子説明

ZWS150BP



ZWS240BP



① L : 入力端子 (ライブライン) (ヒューズが内蔵されています。)

② N : 入力端子 (ニュートラルライン)

③ \perp : \perp 端子

④ 取付け穴, 穴径 : $\phi 3.5\text{mm}$

CN1の \perp 端子と接続されています。導電性のある材質の間座等で、機器・装置の保護接地と導通させてご使用ください。尚、金属スペーサ(間座)の取付け面が $\phi 8\text{mm}$ 以下になるように選定ください。

⑤ 取付け穴, 穴径 : $\phi 3.5\text{mm}$

\perp 端子と導通しておりません。取付け用としてご使用ください。

⑥ + : +出力端子

⑦ - : -出力端子

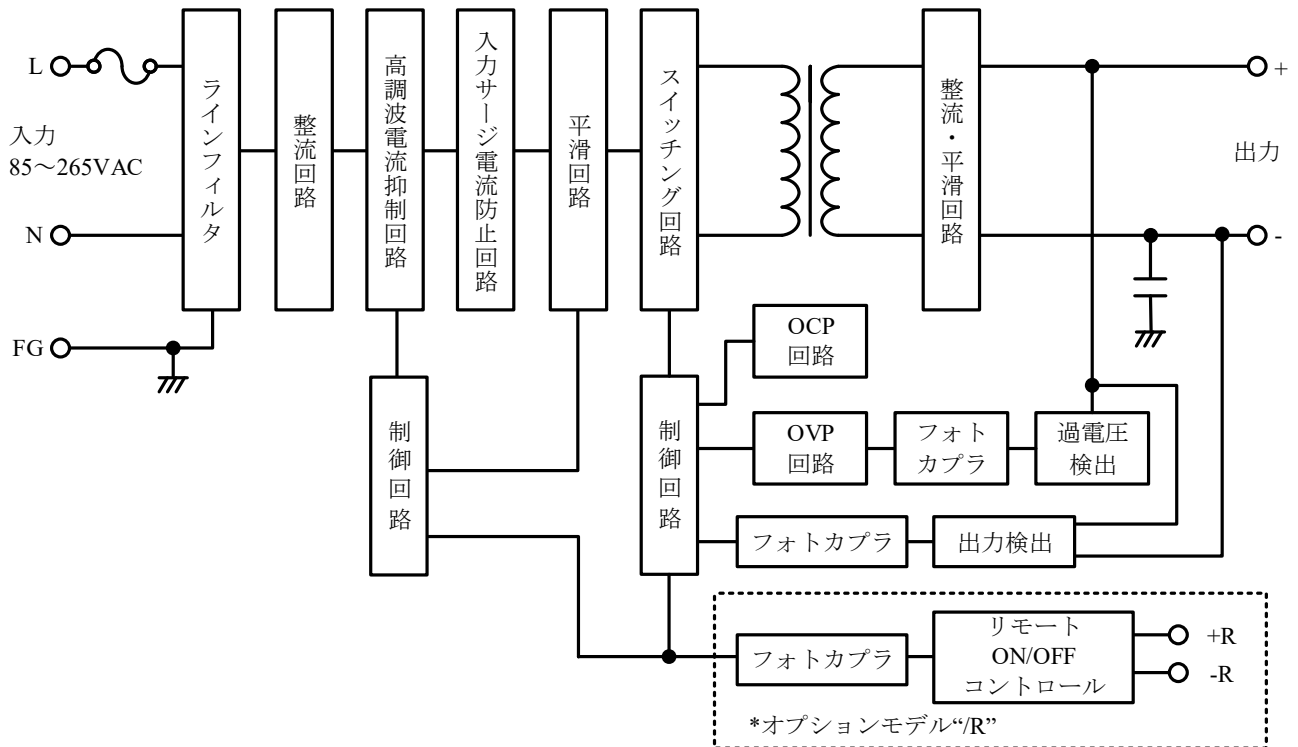
⑧ V.ADJ : 出力電圧可変ボリューム(時計回りで出力が上昇します。)

⑨ ON/OFF コントロール用端子(オプションモデル“R”)

3. ブロックタイヤグラム

ZWS150BP

ZWS240BP



●回路方式・発振周波数

スイッチング回路

カスケードフォワード方式 120kHz

高調波電流抑制回路

アクティブフィルタ方式 65kHz(固定)

●ヒューズ容量

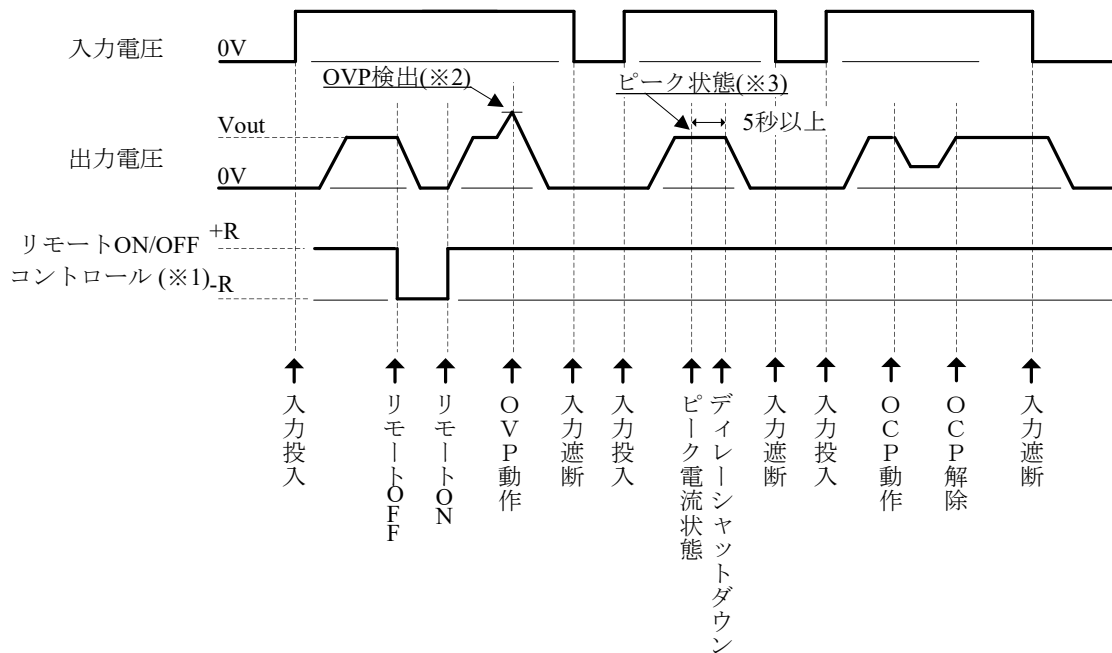
ZWS150BP: 6.3A

ZWS240BP: 10A

4. シーケンスタイムチャート

ZWS150BP

ZWS240BP



(※1) +R & -R間レベル

4.5V以上 : ON

0.8V以下 : OFF

(※2) OVP検出点

24V : 120%~140%

36V,48V : 115%~135%

(※3) ピーク電流状態

ピーク電流状態は5秒以下、Dutty40%以内です。

平均出力電流を超えた出力電流状態で5秒以上運転した場合、ディレーシャットダウン回路が動作し、出力を遮断します。

5. 端子接続方法

入力配線には十分ご注意ください。誤った接続をしますと、故障することがあります。

- 各端子への結線は、入力が遮断されている状態で行ってください。
- ⊥端子は、電源実装機器・装置の保護接地に接続してください。
- 出力端子は、1ピンあたり5A以下でご使用ください。
- 入力線と出力線は、分離して配線してください。耐ノイズ性が向上します。
- 各コネクタの挿抜時は、基板にストレスがかからないようご注意ください。
- 各コネクタは、下記推奨コネクタ(ハウジング)をご使用ください。製品には添付されておりません。
- ピン圧着の際は、メーカー推奨の圧着工具・圧着機器をご使用ください。(下記参照)

ZWS150BP



ZWS240BP



入力・出力コネクタ

	モデル	コネクタ	ハウジング	ターミナルピン	メーカー
入力側 (CN1)	共通	B3P5-VH(LF)(SN)	VHR-5N	SVH-21T-P1.1 BVH-21T-P1.1	JST
出力側 (CN51)	ZWS150BP	B6P-VH(LF)(SN)	VHR-6N		
	ZWS240BP	B8P-VH(LF)(SN)	VHR-8N		

適合圧着器 : YC-160R (JST)

リモート ON/OFF コントロール用コネクタ : オプションモデル “R”

モデル	コネクタ	ハウジング	ターミナルピン	メーカー
CN52	B2B-XH-AM	XHP-2	BXH-001T-P0.6 または SXH-001T-P0.6	JST

適合圧着器 : YC-110R (JST) または YRS-110 (JST)

6. 機能説明及び注意点

6-1 入力電圧

入力電圧範囲は単相交流 85 - 265VAC (47 - 63Hz)、または直流 120 - 370VDC です。規定範囲外の入力電圧印加は、電源の破損をまねく恐れがありますのでご注意ください。安全規格申請時の定格入力電圧範囲は 100 - 240VAC (50 - 60Hz) です。入力電圧が 90VAC 以下の場合、出力ディレーティングが必要となります。

6-2 出力電圧可変範囲

工場出荷時は、定格出力電圧値に設定されています。ボリューム(VR51)により、出力電圧の可変ができます。出力電圧設定範囲は出力可変範囲でご使用ください。ボリュームを時計方向に回転させると、出力電圧は上昇します。出力電圧を上げ過ぎますと、過電圧保護機能が動作し、出力を遮断しますのでご注意ください。尚、出力電圧を高く設定した場合は、電源の出力電力は規定の出力電力値以下でご使用ください。

6-3 入力サージ電流(入力突入電流)

入力サージ電流防止回路を内蔵しています。パワーサーミスタ方式のため、周囲温度が高い場合や通電直後の入力再投入時は入力サージ電流が増加します。仕様規格に記した値は、周囲温度：25℃、コールドスタート時の値です。入力スイッチ、外付けヒューズ等の選定の際はご注意ください。

6-4 デイレー遮断

ピーク電流の連続運転時及び、出力短絡時に機器を保護する為にデイレー遮断回路を内蔵しております。

平均出力電流を超えた出力電流状態及び、出力短絡状態で 5 秒以上運転した場合、デイレー遮断回路が動作し出力を遮断します。

出力遮断後は、入力を一度遮断し、数分後に再投入することにより復帰します。

デイレー遮断時間は固定のため、設定値の変更は出来ません。

ピーク運転については仕様範囲内でご使用ください。詳細は「7-2.出力ピーク電力」をご覧ください。

6-5 過電流保護(OCP)

ZWS150BP, ZWS240BP : 定電流電圧垂下方式自動復帰型です。

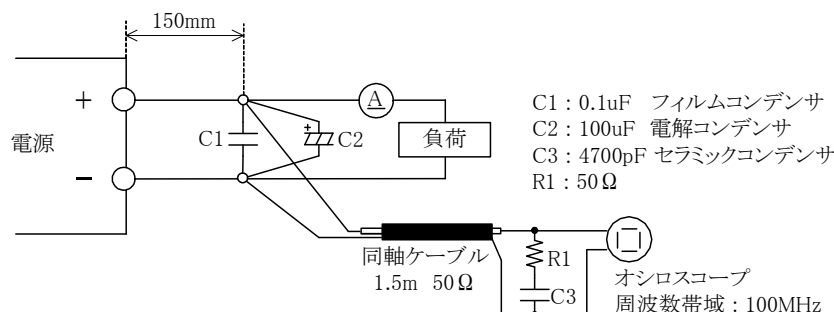
OCP 機能は、定格平均出力電流値の 201%以上で動作し、デイレー遮断回路が動作する前に過電流・短絡状態を解除すれば自動的に出力は復帰します。OCP 設定値は固定の為、設定値の変更はできません。

6-6 過電圧保護(OVP)

出力遮断方式手動リセット型です。定格出力電圧の 24V: 120% - 140%, 36V - 48V: 115% - 135%の範囲で動作し、出力を遮断します。OVP 動作時は入力を一時遮断し、数分後に再投入することにより出力は復帰します。尚、OVP 設定値は固定の為、設定値の変更はできません。出力端子に外部より出力電圧範囲を超える電圧を印加すると、電源の故障をまねく恐れがありますのでお避けください。誘導性負荷をご使用の際は、保護用ダイオードを出力ラインに接続してください。

6-7 出力リップル&ノイズ

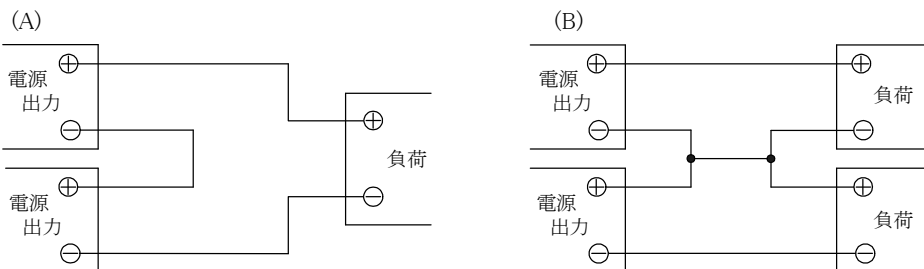
仕様規格の最大リップル・ノイズ電圧値は、規定の測定回路において測定した値です。(JEITA: RC-9131B に準じる規定) 負荷線が長くなる場合は、負荷端に電解コンデンサ、フィルムコンデンサ等を接続することにより負荷端でのリップル&ノイズを抑えられます。尚、測定時において、オシロスコープのプロブグラウンドが長いと、正確な測定はできませんのでご注意ください。



6-8 直列運転

下記(A)および(B)の直列運転が可能です。

ZWS150BP, ZWS240BP



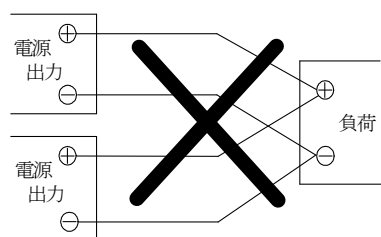
※ (A)の直列運転方法でご使用の際は、1台の電源を停止した状態でのご使用はお避けください。電源の故障をまねく恐れがあります。

6-9 並列運転

並列運転は、(B)のみ可能です。

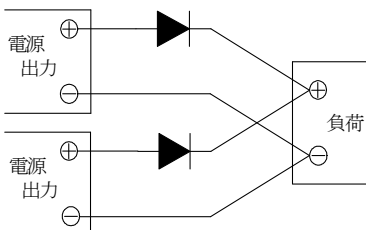
ZWS150BP, ZWS240BP

(A) 出力電流を増加させる為の並列運転はできません。



(B) バックアップ電源としての接続は可能です。

- 1) 出力電圧を合わせるように調整してください。
- 2) 電源出力電圧は、ダイオードの順方向電圧(V_F)分を高く設定してください。電源の出力電圧及び出力電力は、仕様規格値内でご使用ください。



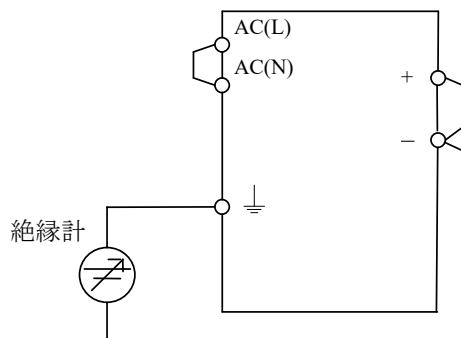
6-10 絶縁抵抗試験

出力 - 地間の絶縁抵抗値は、500VDCにて100MΩ以上です。

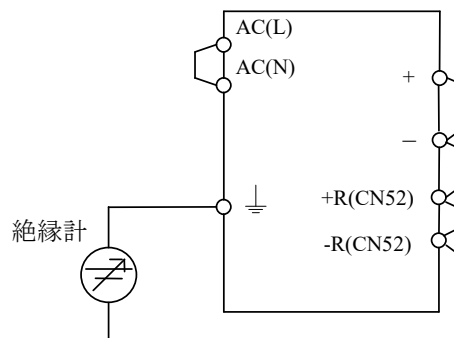
尚、安全のためにDC絶縁計の電圧設定は絶縁抵抗試験前に行い、試験後は抵抗等で十分放電してください。

出力 - 地間 : 500VDC 100MΩ以上

ZWS150BP, ZWS240BP



ZWS150BP/R, ZWS240BP/R



6-11 耐電圧試験

入力-出力間 3.0kVAC、入力- \perp 間 2.0kVAC、出力- \perp 間 500VAC 各 1 分間に耐える仕様です。

耐圧試験器のリミット値を 10mA に設定後(出力- \perp 間: 20mA)、試験を行ってください。

試験電圧印加は、ゼロから徐々に上げ、遮断時も徐々に下げてください。試験時間をタイマーで行う場合、電圧印加・遮断時にインパルス性の高電圧が発生し、電源が破損する恐れがあります。

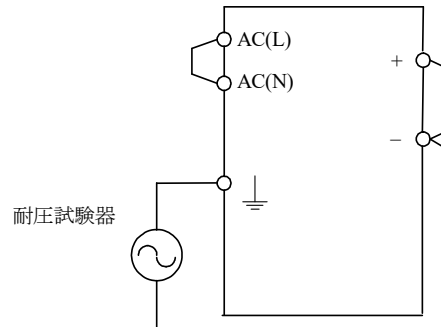
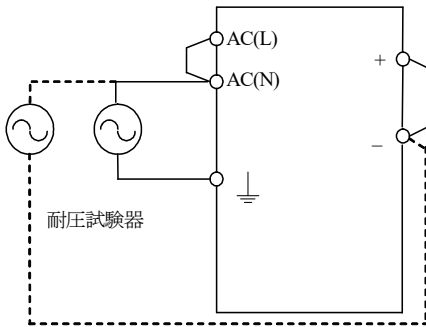
試験時は下図のように入力側・出力側各々を接続してください。出力側開放状態での試験では、出力電圧が瞬時発生することがあります。

入力-出力(破線) : 3.0kVAC 1 分間(10mA)

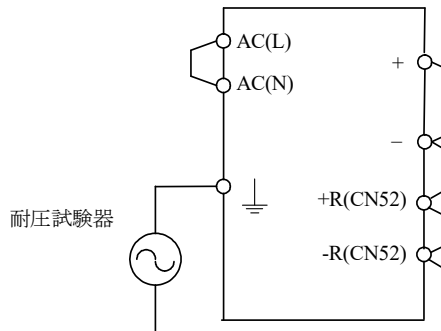
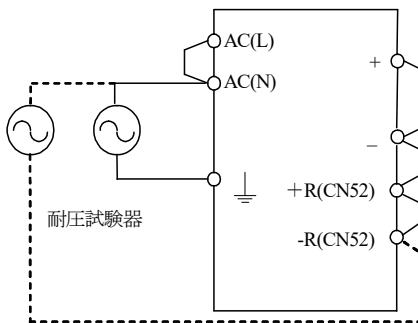
入力- \perp (実線) : 2.0kVAC 1 分間(10mA)

出力- \perp : 500VAC 1 分間(20mA)

ZWS150BP, ZWS240BP

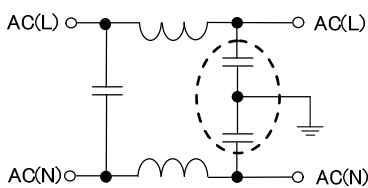


ZWS150BP/R, ZWS240BP/R

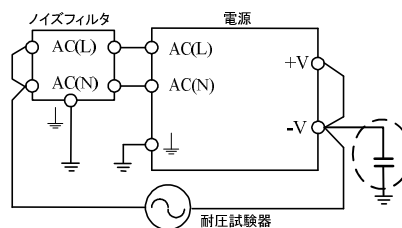


注 1) 本機の 2 次回路- \perp 間には積層セラミックコンデンサが接続されています。
耐圧試験器の種類によっては印加電圧が歪み、高電圧が発生して電源破損をまねく恐れがあります。
耐圧試験実施時には印加電圧波形の確認をお願いします。

注 2) ノイズフィルタ等のご使用により、入力- \perp 間のコンデンサ容量が増加する場合があります。
この状態で入力-出力間の耐圧試験を実施した場合、出力- \perp 間に電源単体時と異なる電圧が発生し、
耐電圧(500VAC)を超える恐れがあります。出力- \perp 間に発生する電圧をご確認ください。
発生電圧が耐電圧を超える場合は、出力- \perp 間にコンデンサ容量を追加することにより発生電圧を低減
できます。尚、出力- \perp 間を短絡してのご使用であれば、出力- \perp 間に電圧は発生しない為、電圧の
ご確認は不要です。



入力- \perp 間のコンデンサ容量が増加する
ノイズフィルタの例。
(破線部のコンデンサ容量分が増加)

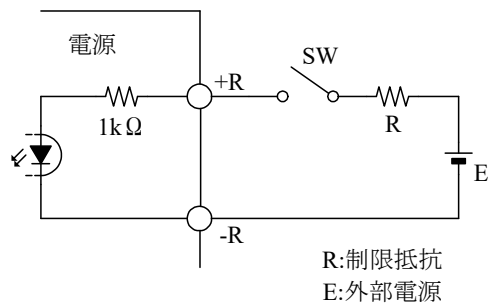


出力- \perp 間へのコンデンサ容量追加箇所
または短絡箇所。
尚、+V- \perp 間でも同じ効果を得られます。

6-12 リモート ON/OFF コントロール(オプションモデル “/R”)

オプション仕様品「/R」タイプには、リモート ON/OFF コントロール機能が内蔵されています。入力印加状態で、出力を ON/OFF 制御できます。基板上的コネクタ(+R,-R)に、外部電圧印加による制御方法です。尚、+R 及び -R 端子は、電源の2次側回路です。電源の1次側回路では使用できません。また、コントロール回路は出力回路から絶縁されています。

コントロール OFF 時の待機電力は 100VAC 入力時:0.15W(typ)、200VAC 入力時:0.5W(typ)となります。(ただし、外部印加回路の損失は含んでおりません。)



+R&-R 間	出力
SW ON(4.5V 以上)	ON
SW OFF(0.8V 以下)	OFF

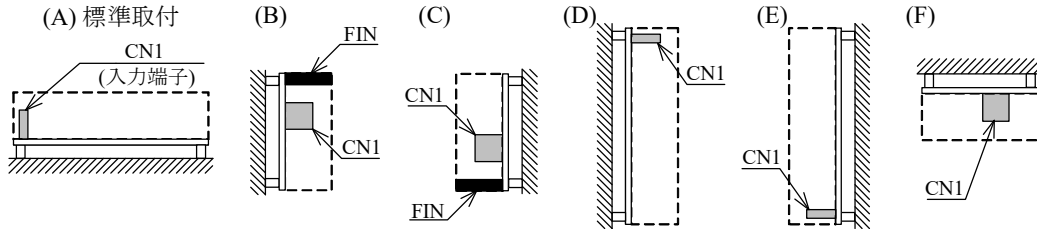
外部電源:E	制限抵抗値:R
4.5 ~ 12.5 VDC	不要
12.5 ~ 24.5 VDC	1.5 kΩ

7. 取付け方法

7-1. 取付け方法

取付け方向は、下図によります。標準取付け方法は(A)です。(B)-(F)も可能です。(A)-(F)以外の取付けは行わないでください。

取付け方向および電源周囲温度から、電源の出力ディレーティングは仕様規格値内でご使用ください。詳細は「7.3.出力ディレーティング」をご覧ください。



7-2. 出力ピーク電力

ピーク電力にて使用する場合、以下に示す(A)及び(B)を満足する様にご使用ください。

ピーク出力電力での連続通電時間は5秒以内です。5秒以上連続通電した場合はディレー遮断回路が動作し、出力を遮断します。

ピーク出力電力値及び平均出力電力値は仕様範囲内でご使用ください。

また、ピーク出力電力値に応じてピーク Duty が制限されます。(B)ピーク電力 vs Duty 特性をご覧ください。

(A)、(B)の仕様範囲外でご使用された場合、電源の破損を招く恐れがありますのでご注意ください。

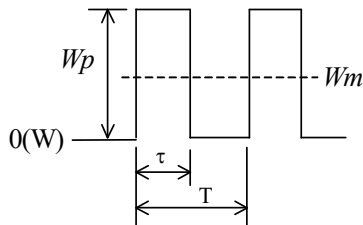
尚、パルス負荷でご使用の場合は電源本体から音が発生することがありますので、事前に評価・確認の上ご使用ください。

(A) 関係式

Duty に関する計算式

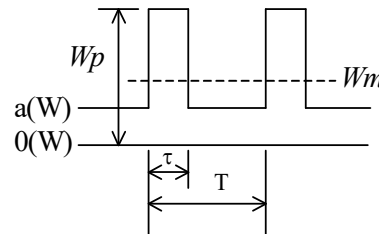
$$Duty = \frac{\tau}{T} \times 100(\%)$$

平均出力電力に関する計算式



$$W_{avg} \geq W_m = \frac{W_p \times \tau}{T}$$

- Wp : ピーク電力値(W)
- Wavg : 仕様規格の定格平均出力電力(W)
- Wm : 平均出力電力(W)

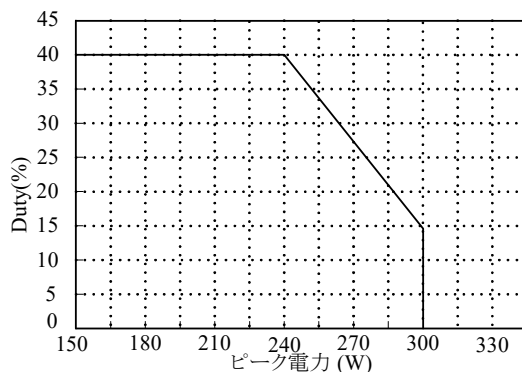


$$W_{avg} \geq W_m = \frac{(W_p - a) \times \tau}{T} + a$$

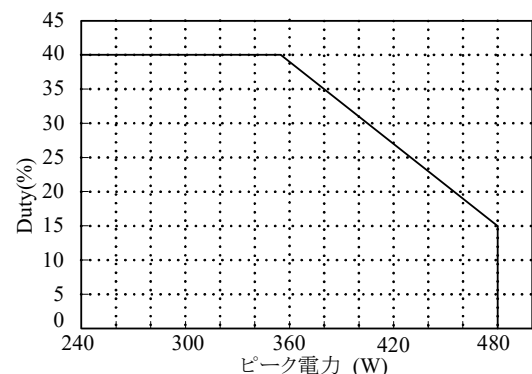
- tau : ピーク電力のパルス幅(sec)
- T : 周期(sec)
- Duty : 1周期内のピーク電力パルスの割合(%)

(B) ピーク電力 vs Duty

ZWS150BP



ZWS240BP

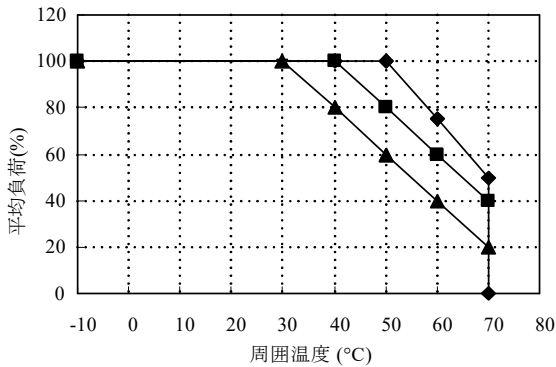


7-3. 出力デレージング

下記出力デレージング値は、定格平均出力電力値を100%としています。(ピーク負荷のデレージングはありません。)

■自然空冷

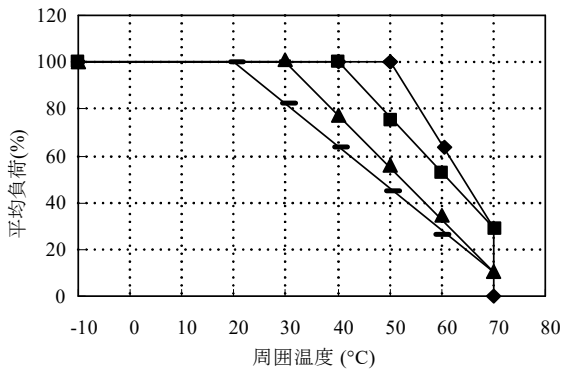
ZWS150BP



- ◆ 取り付け方法 (A)
- 取り付け方法 (B),(C),(E)
- ▲ 取り付け方法 (D),(F)

周囲温度 (°C)	平均負荷 (%)		
	取り付け方法(A)	取り付け方法(B),(C),(E)	取り付け方法(D),(F)
-10 - +30	100		
+40	100	100	80
+50	100	80	60
+60	75	60	40
+70	50	40	20

ZWS240BP

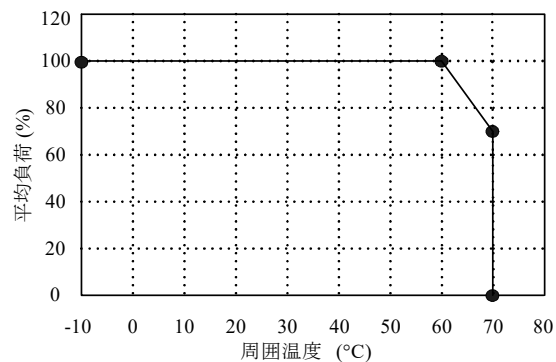


- ◆ 取り付け方法 (A)
- 取り付け方法 (B),(C)
- ▲ 取り付け方法 (E)
- 取り付け方法 (D),(F)

周囲温度 (°C)	平均負荷 (%)			
	取り付け方法(A)	取り付け方法(B),(C)	取り付け方法(E)	取り付け方法(D),(F)
-10 - +20	100			
+30	100	100	100	82
+40	100	100	78	64
+50	100	77	55	46
+60	65	53	32	28
+70	30	30	10	10

■強制空冷

ZWS150BP, ZWS240BP



- 取り付け方法 (A) - (F)

周囲温度 (°C)	平均負荷 (%)
	取り付け方法(A) - (F)
-10 - +60	100
+70	70

電解コンデンサ上限温度

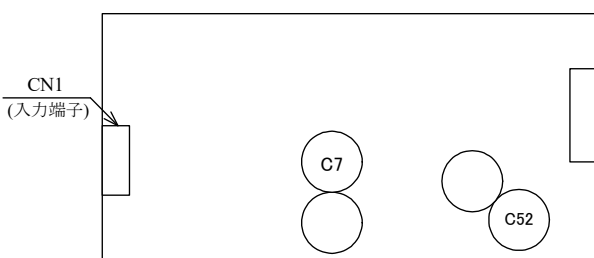
モデル	上限温度	
	C7	C52
ZWS150BP	85°C	75°C
ZWS240BP	75°C	75°C

強制空冷の仕様でご使用になる場合は、部品全体が冷却されるようにご配慮ください。尚、電解コンデンサ C7、C52 が上表の“電解コンデンサ上限温度”以下になる様にお使いください。目安として、電源部品面に風速 0.7m/s もしくは 1.5m/s の風をあててください。強制空冷時の風速によって定格平均出力電力が異なります。仕様書をご確認の上、ご使用の際はご注意ください。

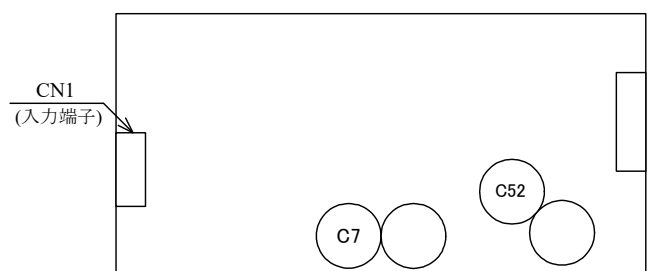
■定格平均出力電力(強制空冷)

モデル	風速 0.7m/s	風速 1.5m/s
ZWS150BP	150W	200W
ZWS240BP	240W	300W

ZWS150BP

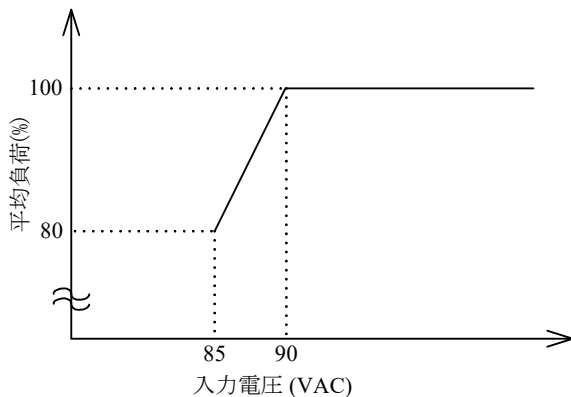


ZWS240BP



7-4. 入力電圧によるディレーティング

入力電圧によるディレーティング特性を下图に示します。



左記入力電圧ディレーティング値は、平均定格出力電力を100%としています。
ピーク負荷のディレーティングはありません。

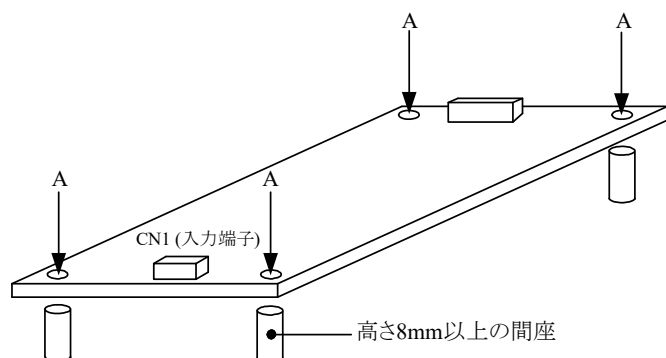
7-5. 取付け方法の注意点

本体(基板)上の取付け穴を使用し、スペーサ(間座: MAX φ8)にて8mm以上浮かせ、取付けてください。また、取付け穴Aは全て使用してください。尚、仕様規格の耐振動性については、取付け穴Aを全て8mm間座にて固定した仕様です。取付け穴Bは、必要に応じてご使用ください。耐振動性が向上します。

■ 取付け用穴サイズ

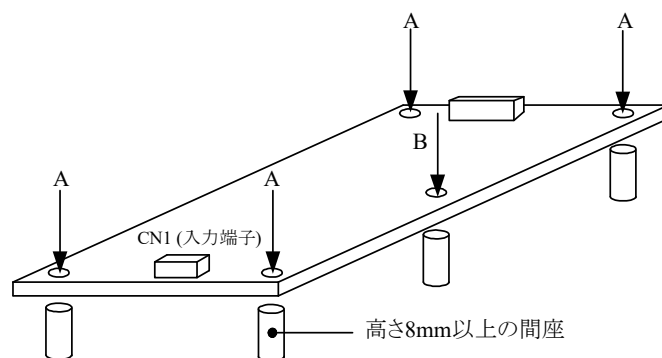
ZWS150BP

φ3.5mmの穴が4ヶ所あります。



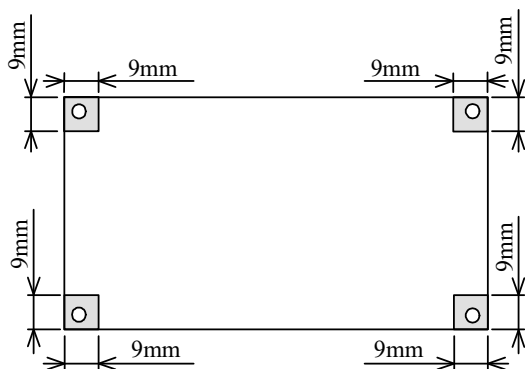
ZWS240BP

φ3.5mmの穴が5ヶ所あります。

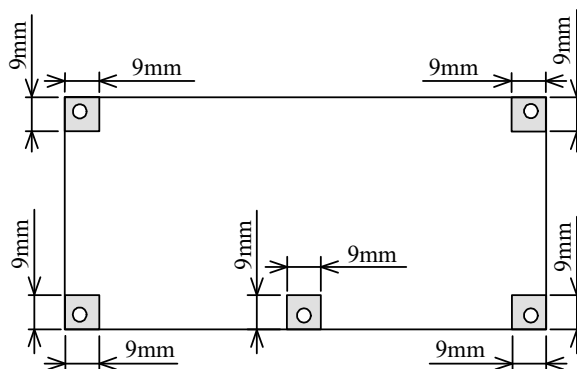


また、基板取付け用金属部(半田面側)の許容範囲は、下記の図のハッチング部です。この範囲内にて取付けてください。

ZWS150BP



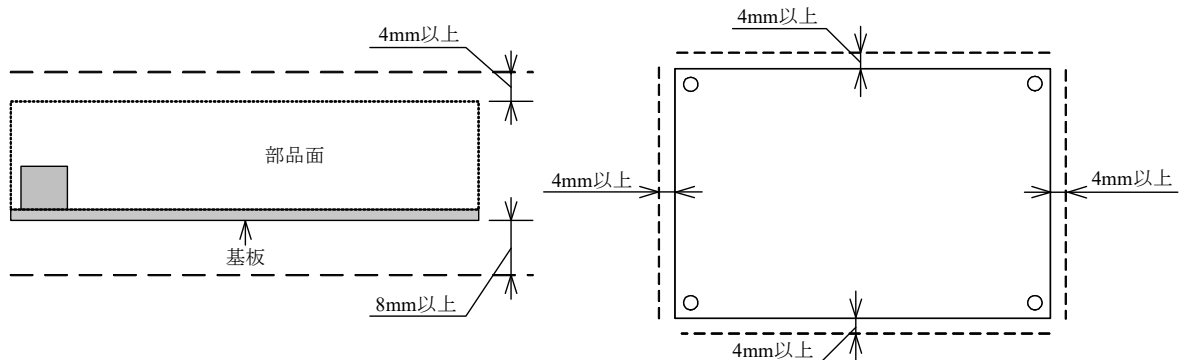
ZWS240BP



■ 絶縁・耐圧規格を満足する条件

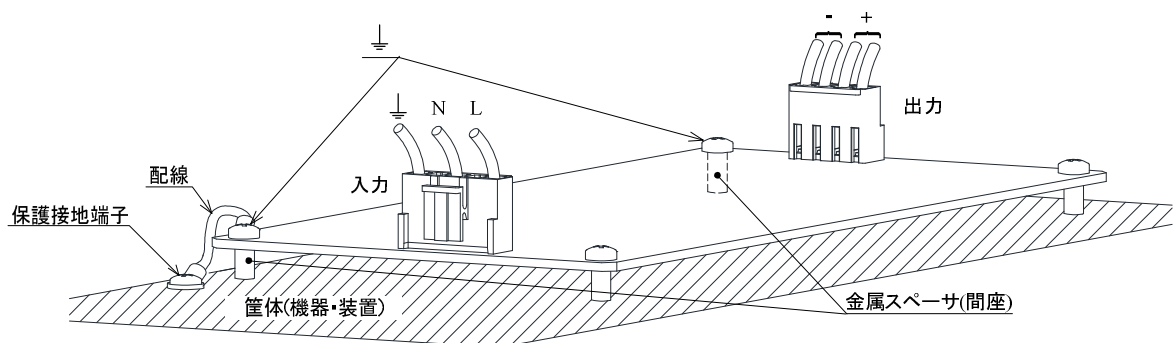
- 基板端から 4mm 以上
- 部品面上部(電源高さ寸法)から 4mm 以上
- 基板半田面(裏面)から 8mm 以上

本体(基板)取付け時は、絶縁・耐圧規格を満足させるために空間をお取りください。
尚、自然対流が十分起こせるように、部品上面部、電源周囲に空間をお取りください。



■ ⚡

⚡は、必ず機器・装置の保護接地端子に接続ください。また、電源内部で⚡と接続された取付け穴が2箇所あります。この取付け穴は導電性のある材質の間座等で、機器・装置の保護接地と導通させてご使用ください。接続しない場合は、入力帰還ノイズ・輻射ノイズ・出力ノイズが大きくなる場合があります。



8. 配線方法

- (1) 入力線と出力負荷線は、必ず分離して下さい。さらに、ツイストすることにより、耐ノイズ性が向上します。
- (2) 入・出力線は、できるだけ太く・短くインピーダンスを低くするようにしてください。
- (3) 負荷端にコンデンサを取付けると、ノイズ除去効果があります。
- (4) ⚡端子は安全及びノイズ除去のため、必ず電源実装機器・装置の保護接地に太い線で接続してください。

9. 期待寿命

電源の寿命は、使用しているアルミ電解コンデンサの寿命に依存します。寿命データは信頼性データに記載しています。アルミ電解コンデンサの寿命は電源の取付け方法、負荷電流、周囲温度により異なります。

「電解コンデンサ推定寿命計算値」をご参照ください。

また、期待寿命を過ぎた製品を継続して使用されますと、予期せぬ出力遮断や、電源仕様を満足しない恐れがあります。期待寿命を過ぎた製品は、メンテナンスを依頼されるか交換をご検討ください。

10. 外付けヒューズ容量

電源の入力ラインに外付けヒューズを取付ける場合は、下記ヒューズ容量をご使用ください。入力電圧投入時にサージ電流が流れる為、耐サージ性の高いタイムラグヒューズ等をご使用ください。速断ヒューズは使用できません。尚、ヒューズ容量は、入力投入時の突入電流(入力サージ電流)を考慮した値です。実負荷状態における入力電流値(RMS)から、ヒューズ容量は選定できません。

ZWS150BP : 6.3A

ZWS240BP : 10A

11. 故障と思われる前に

- (1) 規定の入力電圧が印加されていますか。
- (2) 入・出力端子への配線は、正しく接続されていますか。
- (3) 配線の線材は、細すぎていませんか。
- (4) 出力電流及び出力電力は、規格値以上で使用していませんか。
- (5) 出力電圧可変ボリュームを廻し過ぎていませんか。過電圧保護機能が動作し、出力を遮断します。
- (6) 入力電圧波形は正弦波交流になっていますか。
UPS等を接続され入力電圧波形が正弦波でなくなると、電源から音が発生することがあります。
- (7) 負荷が変動する周波数によっては電源から音が発生することがあります。

12. 無償保証範囲

無償保証期間は、納入後5年です。

この期間内の正常なご使用状態における故障につきましては、無償で修理致します。

弊社製品をご使用前に弊社webサイトの「ご使用上の注意事項および製品保証と保守サービス」について必ずお読みください。

13. CE マーキング / UKCA マーキング

CE マーキング

本取扱説明書に記載されている製品または梱包部材に表示されている CE マーキングは欧州の低電圧指令、EMC 指令および RoHS 指令に従っているものです。

UKCA マーキング

本取扱説明書に記載されている製品または梱包部材に表示されている UKCA マーキングは以下規制に従っているものです。

- Electrical Equipment (Safety) Regulations
- Electromagnetic Compatibility Regulations
- Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical & Electronic Equipment Regulations